

す ばや し

金沢素囃子 子ども塾

第十一期生
中間発表会



令和8年 3月22日(日)

場所

金沢市アートホール

時間

開演13:30(開場13:00) 終演14:30(予定)

料金

無料(全席自由)

すばやし 金沢素囃子子ども塾

第十一期生中間発表会

金沢市では金沢市指定無形文化財である
「金沢素囃子」の伝統を受け継ぐ人材を育成するため、
平成十七年度に金沢素囃子保存会の協力を得て
「金沢素囃子子ども塾」を開講しました。

現在は第十一期生九名が二年間のお稽古に取り組んでいます。

第一部 金沢素囃子子ども塾 第十一期生中間発表会

御祝儀

一 ことぶき

高砂の尉(じょう)と姥(うば)の長寿を祝い、
鶴亀や友白髪といったおめでたい歌詞を織り
込んで唄っている御祝儀曲です。十一期生全員
で三味線を演奏します。

二 さくら／潮来 (いたこ)

小鼓、大鼓、太鼓、笛、ウチワ太鼓、チャップを
使い演奏します。

四 五郎

雨の五郎、または時致(ときむね)とも言われ、
古くより舞踊曲としても親しまれています。
今回は、二上より演奏します。

三 末広狩 (すえひろがり)

狂言の「末広狩」を長唄化した明るくて品の
いい曲です。末広狩とは扇のことで、ゆく末ま
すます広がり栄えるという御めでたい意味が
込められております。十一期生全員で唄います。

第二部 金沢素囃子鑑賞会

素囃子「操三番叟」

あやつりさんばそう

嘉永六年 五代目 杵屋弥十郎 作曲

三味線 杵屋 寿 珠 笛 藤舎 眞 衣

三味線 杵屋 喜三 笙 小鼓 望月 太満 智

三味線 杵屋 喜三 以満 ○小鼓 望月 太満 衛

唄 杵屋 喜三 蘭 大鼓 望月 太満 紀

唄 杵屋 喜三 笑 太鼓 望月 太満 恵

唄 杵屋 喜三 うた

楽曲解説

芸術の神である翁(おきな)・千歳(せんざい)・三番叟
(さんばそう)が五穀豊穡・天下泰平を祈って舞うとい
う筋で、はなやかに軽快な曲です。

金沢素囃子子ども塾

詳細は金沢市ホームページを
ご覧ください。

金沢市ホームページ
「金沢素囃子
子ども塾」

二次元コード▶



金沢市アートホール (ポルテ金沢6F)

金沢市本町2-15-1 TEL 076-224-1660

※駐車場はございません。近隣の有料駐車場または
公共交通機関をご利用ください。

金沢市指定無形文化財

金沢素囃子

金沢で演奏されている素囃子は歌舞伎
囃子より出たもので、小鼓、大鼓、太鼓、笛に
よる演奏に、文化・文政のころより三味線が
入り現在の形となりました。

舞台では、上段に長唄などの地方(唄・三
味線)が、下段には囃子方が並びます。舞踊
や劇がなく、演奏に徹する形式が確立され、
「金沢素囃子」と称されています。

昭和五十三年に金沢素囃子保存会が、
三茶屋街を中心として、望月、堅田、藤舎の
三流派の社中四十数名で発足。昭和五十五
年には金沢市無形文化財の指定を受けてい
ます。